

私は海外フィールドワークで他国の宗教と深く結びついた食生活や日常の習慣を学びたいです。

現地の会社で働く人達に日本からマレーシアでの勤務を志望したのはなぜか、不安は無かったか等を聞き自分やクラスの子の進路選択に活かしたいです。また文化の違いによって自分の日本の常識が通じなかったり、逆に相手の慣習を知らなかったりすると思います。

そこで仲間と協力し、柔軟な対応力を養いたいと考えています。

異なる文化の常識を持つ方と共に過ごせる事はこれまでの自分の常識や考え方より広くしてくれるきっかけになると言っています。私は高校の実習で学んだ旋盤や金鋸造について現地でどのように使われているか見ることが楽しみです。

帰国後は現地で得た異なる価値観の共有や学んだコミュニケーションの工夫をクラスに伝えたいと考えています。不安ばかりですが事前準備をしっかりし、現地で精一杯学んでいきます。

私は、今回の海外フィールドワークに参加できることをとても楽しみに思っています。

私は、マレーシアに行って日本とは違う文化や生活に実際に触れることで、柔軟な考え方や対応力を身につけられるように頑張りたいと思っています。特に、現地の企業のみなさんや、マレーシア国民大学のみなさんと積極的に交流をし、協働性や積極性を高めマレーシアの産業や機械の技術、また働く人たちの働く姿勢を自分の目で確かめて日本に学んだ常識と結びつけていきたいと考えています。そして、学校の代表の一人として海外フィールドワークに参加することを自覚して、帰国してから気づいたことを仲間に共有したりして結果として、みんなのプラスになつて、行つて良かったと思える研修にしたいです。

私は海外フィールドワークに参加し学びたいことが2つある。

1つ目は海外に実際に行き、言語や文化が自分たちとは異なる場所などのように生活するのが、どのようにコミュニケーションをとるのかだ。マレーシアではイスラム教徒が多いが、日本では自分を含む国民の過半数以上が宗教を信仰していない。また、マレーシアではマレー語と英語が主な言語となり、中国系・インド系の人々の間ではマレーシア人と話し言語が異なる。そんな中での生活で消極的にならず、自ら話しかけられる性格を身に付けてたくさん交流したい。

2つ目は企業についてだ。海外に進出するメソッドや、マレーシアに拠点を置く理由、電子機械の技術を学びたい。

学ぶだけで終わらせるのではなく、日本に帰ってきたら情報を発信し共有して研修をよりよいものになりたい。

学校創立100周年記念事業として行われるマレーシアでの海外フィールドワークにクラス代表として参加させていただきます。僕は、多民族社会の歴史や文化を学び、宗教や食文化、生活習慣にふれることで異なる価値感を尊重する姿勢を身につけたいと考えています。また、三井アスチックスや日電精密の企業見学では、日本企業が海外でどのように活動しているのかを学び、ものづくりの視点を広げたいです。さらに、日本と気候や社会条件の異なるマレーシアでの街づくりや建設技術に注目し、土木の分野で必要となる柔軟な発想や工夫を学びたいと思います。僕は人の意見をまとめ、協力して行動することが得意です。その強みを活かして仲間と共に積極的に学んでいきます。帰国後は、文化体験や企業見学、土木建築の学びを学校に伝え、国際的な視野を広げるきっかけをつくりたいと思います。

私は、自分の弱いところや短所を改善したいです。人見知りで、人との壁をすぐには作ってしまうので、海外での5日間という貴重な経験を通して、少しでも克服できるようにしたいです。海外は初めてで緊張や不安もあるけれど、真面目な性格という自分の長所を生かし、事前の準備から丁寧に取組んでいます。また、準備の段階から積極的に行動し、一緒に参加する仲間とも自分から関わり、いくことを大切に取り組んでいます。事前調べで得た知識を生かし、現地では英語やマレー語を使ってコミュニケーションをとる努力をしたり、企業や大学の方に自分から質問することに挑戦したいです。普段の自分なら避けることも勇気を持って行動し、新しい自分を見つけるきっかけにしたいです。マレーシア国民大学では、英語とマレー語の言語をどのくらい使っているのか、日本の大学との共通点や違いを知りたいです。企業訪問では、グローバルに活躍する企業の様子や日本との共通点や違いを学びたいです。海外に行って少しでも自信を持つようになり、今後の進路や将来に繋げていきたいです。また、この経験を自分のものだけにせず、クラスや学科の仲間に共有して、高め合いたい。

私は、この海外フィールドワークでは初めての行く国でどのようにコミュニケーションを取っていくのか考えたり相手の国の文化や価値感を知ってそれを決して否定したりせずしたいです。このような考え方もあるんだなと思ったり、相手の立場から同じように物事を考えられるようにしたいです。そして、6組の代表として海外で活躍する企業を実際に見学してそこで働く人達などのような思いを持って物作りしているのかを学びたいです。そして、企業の中の電気設備はどのような仕組みか観たいです。最後にこの海外フィールドワークを通して何事にも恐れずに色々なことにまずは挑戦できるようにしていきたいと思っています。

私が海外フィールドワークで学びたいことは現地の歴史や地理、産業の特徴です。なぜなら、現地の近世史や近代史を理解することで現代の外交事情や地理的利点を知ることができるからです。また、現地の文化を深く学ぶことに繋がると思ったからです。

産業に関しては、マレーシアは内需主導の経済成長を背景に安定的に発展しており、学ぶ所があると考えたからです。また、日本とは違い電子機器の他に天然資源の輸出を多く行っており、産業構造が大きく異なるため知りたいです。

これらのことを学び、クラスメイトに伝えていきたいです。

僕は、海外フィールドワークを通じて、マレーシアの物づくりを学ぶこと、物づくりに対して現地の方はどう思っているのかを学ぶこと、共に海外へ行く仲間たちとの絆を深め、チームワークを鍛えることを頑張ります。情報技術工学科生として、企業の工場見学、体験会で、現場ではネットワークをどう利用されているかに着目します。また見学、体験で学んだことを全校に伝えられるようにメモを取り、自分の言葉で伝えられるようにします。チームワークでは、部活動で培ってきた集団行動を活かして、共に海外へ行く仲間たちと積極的に関わり、絆を深められるようにします。海外フィールドワークが終わっても、物づくりに対する考えを深めること、チームワークを部活動、学級活動で活かし、よりよい学校生活を送れるようにします。